

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 仁摩福祉会	代表者	石橋 秀利	法人・ 事業所 の特徴	大田市の中心にあり、海、山、川が近くにあり街中に出やすい環境で、祭り事や催事に出掛けやすい。家庭的な雰囲気の仕事所で、季節の食材にこだわり健康に配慮した手作りの食事を提供している。また、月の行事を大切に、利用者、家族と一緒にやっている。
事業所名	小規模多機能居宅介 護事業者えがお	管理者	渡辺 絵利子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団 体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	2人	人	人	1人	人	人	3人	人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	職員に評価の理解や取組み改善計画をミーティング等で話し合いする。委員へ早めの説明報告わかりやすい配慮をして行く。	職員にミーティングの際に、説明を行う事ができたが、理解できない職員もあり自己評価にバラつきがあった。委員へはマーカーで線を引きわかりやすく報告を行った。	自己評価をみなさんできちんと話し合いが出来ていると確認が出来ました。委員の方も慣れて来て評価しやすくなりました。	職員、委員へ具体的にわかりやすい評価の説明を行う。職員へ目標を共有し達成できるようにミーティングで発信する。
B. 事業所のしつらえ・環境	月の担当が、玄関に季節に応じた展示物を張り出す。月に1回施設回りの掃除を行う。	各担当が責任を持ち季節の合わせた展示物が出来た。毎月は出来なかったが気が付いた職員が施設回りの清掃を行う事が出来た。	展示物も毎回変わっていて良いと思います。鍵もかかかっていないと感じています。施設が新しいのでいつもきれいだと感じております。	玄関、事業所内には各担当が季節の応じた展示物を張り出す。施設回りの清掃を定期的に行う。職員の対応や言葉使いをホスピタリティ研修として学ぶ。
C. 事業所と地域のかかわり	地域のサロンや地域の会合の参加し、関わりを持つ。	コロナ禍の為参加出来ない会合が多くあったが、それを理由に調べきれいな事もあった。	コロナ禍の為参加が難しいと思う。やはり、地域にあまり知られていないと感じるので頑張りたいです。	新規利用者へ、地域の民生委員に挨拶へ行き情報収集を行い行事等に参加する。地域へ発信できる取り組みをする。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	新型コロナウイルスの影響を見ながら地域参加に参加する。地域の見守り隊に参加をする。	地域の見守り隊に参加する事ができた。コロナ禍の為計画していた地域参加が中止になり参加できなかった。	ドライブに出掛けたり事業所内で行事をやっている事が確認出来た。町内でやっているサロンに来て頂きたいがコロナ禍の為難しい面もある。	新型コロナウイルスの影響を見ながら地域参加に参加する。地域の見守り隊に参加をする。

<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>第三者評価を受審し家族の声を聞いてみる。 運営推進会議で地域の情報を収集し、ミーティングで報告をする。</p>	<p>第三者評価を受審し家族アンケートを実施する事が出来た。 コロナ禍の為情報が少なかった。</p>	<p>事業所の取組みを解りやすく説明できていると思います。会議で出た事をきちんと報告出来ていると感じています。</p>	<p>運営推進委員より情報を頂き、関わりができるような取組みをミーティング等で検証する。</p>
<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<p>年2回の避難訓練の中で運営推進委員方や町内の方と一緒に実施して見る。</p>	<p>運営推進委員の方へ避難訓練を見学してもらう事が出来た。 町内の方の参加がなかった。</p>	<p>災害時事業所としてなにができるか地域に発信して欲しい。避難訓練を見学させていただきましたがスムーズに出来ていると思います。</p>	<p>災害時事業所はなにができるか明確にして地域へ発信する企画を考え実施する。</p>